

大分県での日米合同訓練における オスプレイの視察について

日 時：平成30年12月12日（水）

午後2時10分から午後3時00分

場 所：大分県由布市 日出生台演習場及びその周囲

参加者：柳川市 オスプレイ配備等に関する対策チーム

柳川市

【概要】

12月7日～19日の日程で大分県の日出生台演習場等で日米合同訓練が実施されており、訓練期間中である12日にオスプレイを使用した空中機動訓練（輸送訓練）を実施するとのことです。演習場内及び、演習場の周囲で騒音の体感を含めた状況等の視察を行った。

1、演習場内

14時10分頃から、オスプレイを使用した訓練の視察開始。演習場内にある丘の上から見下ろせる箇所でおスプレイ2機を確認。演習場には、柳川市以外に近隣の関係自治体も視察に来られていた。



14時20分頃、自衛隊員等を搭乗させた後、14:24頃に垂直離陸モードで2機が離陸し飛行。

搭乗の状況



飛行の状況



その後、演習場内の別の場所へ搭乗員を輸送した後、14時42分頃に再び飛来。

飛来時の様子



着陸後、再び搭乗員を乗せて14時51分頃に垂直離陸モードで2機が離陸し飛行。

搭乗員が乗り込んでいる状況



離陸時の状況



飛行時の状況



離着陸時の騒音測定状況のデータは以下の通り。

第1回目離陸

最大値 93.1デシベル 最小値 41.1デシベル 平均値 78.5デシベル

第1回目着陸

最大値 98.1デシベル 最小値 53.3デシベル 平均値 84.4デシベル

第2回目離陸

最大値 91.2デシベル 最小値 56.2デシベル 平均値 77.3デシベル



2、演習場の周囲

- ① 14時25分頃に演習場北側付近でオスプレイ2機の飛行を確認。距離が離れていたため、騒音測定は実施できず

確認地点図



- ② 14時30分頃に確認地点の移動、14時40分頃にオスプレイ2機が転換モードで南から北への飛行を確認

飛行時の状況



- ③ 14時52分頃にオスプレイ2機が垂直離陸モードで北から南東方面への飛行を確認。
確認地点の真上を飛行した。この際に騒音測定を実施

飛行時の状況



飛行時

最大値 88.8デシベル 最小値 60.4デシベル 平均値 81.5デシベル

※目視での高さが50～100m程。測定時に騒音計の前を数台の車両が通過したため、その音も合わせて測定している可能性あり。

【関連記事】

平成30年12月13日 西日本新聞

日出生台と築城
オスプレイ飛来
日米共同訓練

陸上自衛隊と在沖繩米海兵隊による日米共同訓練が12日行われ、陸自日出生台演習場(大分県由布市など)で米軍普天間飛行場(沖縄県)所属の輸送機オスプレイが飛行した。同演習場でのオスプレイの訓練は初めて。

陸自や九州防衛局によると同日午後1時29分、オスプレイ2機が米軍岩国基地(山口県岩国市)から飛来

演習場内で陸自隊員や米海兵隊員の輸送訓練を行った。訓練の一部が報道陣と地元自治体関係者に公開された。

午後5時半ごろからは夜間の飛行や離着陸の訓練も実施し、夜には航空自衛隊築城基地(福岡県築上町など)へも初めて飛来した。九州防衛局によると13日午前、日出生台演習場へ飛び立つという。

訓練は基地負担軽減を目的に沖縄県から移転実施しており19日まで行われる。(後藤薫平、武井良範)

陸上自衛隊との共同訓練に参加する米海兵隊の輸送機オスプレイ=12日午後、大分県の日出生台演習場(撮影・佐藤雄太朗)